

# ノアの大洪水：箱船に導かれた人と動物たち

鳳キリスト恵み教会 2014.7.21 (祝)  
京都インターナショナルユニバーシティ 安藤和子

## 地球・人類の歴史の曲がり角

ペテロの手紙第二 3章6節 当時の世界は、洪水におおわれて滅びました。

### [1] 序

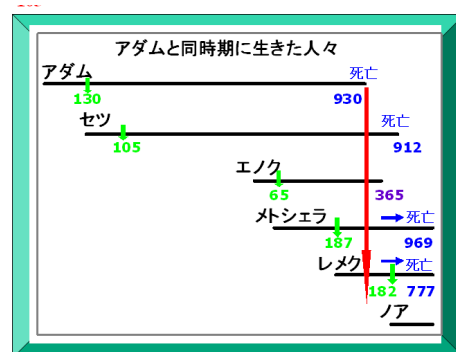
今から約六千年前、主によって完璧に創造されて、アダムとエバから人類史は始まった。

アダムと同じ時期に生きた人々

アダムは創造されてから、930年生きていた。

神の人と呼ばれ、死ななかつた七代目のエノク、ノアの祖父、そしてノアの父レメクまでは、アダムと同じ時代に生きていた。この人たちは家長なので、アダムと親しく話をしていたかも知れない。

大洪水の出来事の主人公ノアは、アダムが死んでから生まれているので会っていない。



### [2] アダムからノアまで

生まれて生きて死んだ 1000 年 (創世記 5 章参照)

アダムからの人類史 1000 年の間に、アダムの罪は増幅して、地上は大変な状態になっていた。

人の悪が増大し暴虐で満ちていた。

神の子らが、人の娘たちのところに入り、彼らに子どもができたころ、またその後にも、ネフィリムが地上にいた。これらは、昔の勇士であり、名のある者たちであった。(創 6:4)

「ノアが箱舟に入るその日まで、人々は食べたり飲んだり」して、やがて訪れる破滅の警告を聞こうとしなかったの、「洪水が来て、すべての人を滅ぼしてしまいました。」(ルカ 17:27)

### アダム歴 1540 年頃 (創造後 1540 年) 主の声があった・洪水預言

主はノアに語りかけられた (メトシェラとレメクも一緒に?)。

【主】は、地上に人の悪が増大し、その心に計ることがみな、いつも悪いことだけに傾くのをご覧になった。それで【主】は、地上に人を造ったことを悔やみ、心を痛められた。(創 6:5, 6)



### [3] 創造主・ヤハウェ・唯一神

創造主・ヤハウェ・唯一の御方はどのような方だろうか。

アドナイ (主)、エロヒム (神・上帝)、エル・シャダイ (全能の神)

愛・慈愛、正義、忍耐強い主が、その愛ゆえに、そして正しい方であるが故に、ノアの洪水の裁きをする決断をしなければならなかった。主の悲痛な思いが創世記に記載されている。

創世記6章7節、11～12、13節

そして【主】は仰せられた。「わたしが創造した人を地の面から消し去ろう。人をはじめ、家畜やはうもの、空の鳥に至るまで。わたしは、これらを造ったことを残念に思うからだ。」

地は、神の前に墮落し、地は、暴虐で満ちていた。神が地をご覧になると、実に、それは、墮落していた。すべての肉なるものが、地上でその道を乱していたからである。

そこで、神はノアに仰せられた。「すべての肉なるものの終わりが、わたしの前に来ている。地は、彼らのゆえに、暴虐で満ちているからだ。それで今わたしは、彼らを地とともに滅ぼそうとしている。

主のタイムテーブルを右の図に簡単に示した。

- ① 完璧な世界の創造（約六千年前）
- ② 人類史の早い時期に主に反逆。罪と死の支配が始まった。
- ③ 人類の暴虐が極まったための裁き。ノアの洪水。ノアはアダム歴 1000 頃生まれた
- ④ 神の子、キリストの御降誕。アダム歴 4000 年頃。十字架、死、復活、昇天
- ⑤ その後 2 千年、恵みの時代。人類はキリストの御再臨を待っている



[4] ノアはどういう人？

- ① キリストに至る系図の中に
- ② 歴史上最も正しい三人：ノアとダニエルとヨブ
- ③ 最高の信仰者
- ④ 歴史上の重要人物
- ⑤ イエス・キリストが洪水と箱船を事実と承認された

[5] 箱船建造命令

箱船建造に関わった人々：メトシェラ、レメク、ノアなど

神の裁きとしての洪水。「わたしが創造した人を地の面から消し去ろう」（創6:7）

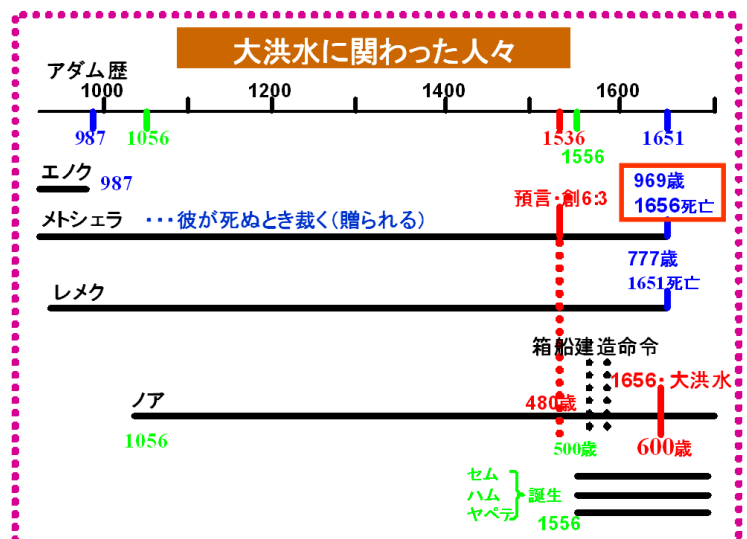
箱船(聖書に書かれている寸法の縮尺)

目的：地上の生物を守るため・保存するため

長さ 137 m x 幅 23 m x 高さ 13.7 m

造船技術の黄金比・最も安定な構造

(30 : 5 : 3 )



箱船の大きさ・貨車の容量にすると	
	貨車 1両 (83m <sup>3</sup> )・車両522台分
檻数で概算 貨車1両に羊240匹收容可能	
	檻の大きさ 0.5 x 0.7 x 1.0 = 0.35 m <sup>3</sup>
箱船全体に收容可能な羊の匹数	
240匹 / 1両 x 522 両 = 125,000 匹	
箱船内の配置	
	動物: 0.35m <sup>3</sup> x75,000匹 =26,250m <sup>3</sup>
貨車312両分 箱船の60%	
	食糧<15%, 飲料水用<10%



箱船の中にノアと動物たちを乗せた図  
箱船の入口は一つ  
天井に明かり取りと外気を取り入れる窓

### 主が与えてくださった箱船の設計図 創世記 6:14～16

あなたは自分のために、ゴフェルの木の箱舟を造りなさい。箱舟に部屋を作り、内と外とを木のやにで塗りなさい。それを次のようにして造りなさい。箱舟の長さは三百キュビト。その幅は五十キュビト。その高さは三十キュビト。(新改訳)

箱舟に明かり取りを造り、上から一アンマにして、それを仕上げなさい。箱舟の側面には戸口を造りなさい。また、一階と二階と三階を造りなさい。(新共同訳)

- \*ノアは、箱船建造という重労働と共に、箱船建造の総指揮官としての体力・知力・統率力を必要とする任務を果たした。
- \*さらに、箱船に食糧・飲料を積み込み、動物たちを適切に乗船させた。
- \*そして、600歳になった時に大洪水となり、その後、一年以上箱船の中で家族と動物たちの平和な箱船生活を守り通した。
- \*ノアは洪水後、450年生きた。すなわち、洪水が起こった時は、950年の人生の半ばを少し過ぎたばかりの時期であった。ノアは多くの人々が誤解しているような老人ではなく、体力は全く衰えていないはずであり、知力・胆力・精神力は充実して、人生経験豊かな円熟した時期であったと考えられる。



## [6] 箱船乗船

わたしは今、いのちの息あるすべての肉なるものを、天の下から滅ぼすために、地上の大水、大洪水を起こそうとしている。地上のすべてのものは死に絶えなければならない。しかし、わたしは、あなたと契約を結ぼう。あなたは、あなたの息子たち、あなたの妻、それにあなたの息子たちの妻といっしょに箱舟に入りなさい。(創世記 6:17, 18)

またすべての生き物、すべての肉なるものの中から、それぞれ二匹ずつ箱舟に連れて入り、あなたといっしょに生き残るようにしなさい。それらは、雄と雌でなければならない。また、各種類の鳥、各種類の動物、各種類の地をはうものすべてのうち、それぞれ二匹ずつが、生き残るために、あなたのところに来なければならない。あなたは、食べられるあらゆる食糧を取って、自分のところに集め、あなたとそれらの動物の食物としなさい。」(乗船方法 創世記 6:19～21)

## 船に乗った人々、集められた動物たち

\*船に乗った人々:ノア夫妻、3人の息子たち(セム・ヤペテ・ハム)とそれぞれの妻、合計8名

ちょうどその同じ日に、ノアは、ノアの息子たちセム、ハム、ヤペテ、またノアの妻と息子たちの三人の妻といっしょに箱舟に入った。(創世記7:13)

\*主が集められたすべての肉なるものの雄と雌

あなたは、すべてのきよい動物の中から雄と雌、七つがいつつ、きよくない動物の中から雄と雌、一つがいつつ、また空の鳥の中からも雄と雌、七つがいつつを取りなさい。それはその種類が全地の面で生き残るためである。(創世記7:2、3)

## 主が命じられた通りに(創6:22、7:5、7:16)

ノアは、すべて神が命じられたとおりにし、そのように行った。(創6:22)

ノアは、すべて【主】が命じられたとおりにした。(7:5)

神がノアに命じられたとおりに、雄と雌二匹ずつが箱舟の中のノアのところにはいつて来た(創7:9)。入ったものは、すべての肉なるものの雄と雌であって、神がノアに命じられたとおりであった。(7:16)

\*ノアが世界中を巡り歩いて動物たちを箱船に連れてくる必要はなかった。

神が動物たちを箱船の所まで移動させた。

大洪水の歴史的真實性を保証・洪水前の日々と真剣に向き合って生きるように勧告された。しかし、洪水から逃れるための箱船への誘いを、当時の人々は拒み続けた

人の子が来るのは、ちょうど、ノアの日のようだからです。洪水前の日々は、ノアが箱舟に入るその日まで、人々は、飲んだり、食べたり、めとったり、とついだりしていました。そして、洪水が来てすべての物をさらってしまうまで、彼らはわからなかったのです。人の子が来るのも、そのとおりで。(マタイ24:37~39)

恵みの時代に、救いの箱船・キリストの福音の門が開かれている間に福音の恵みに与るようにとの誘い

主はノアに仰せられた。「あなたとあなたの全家族とは、箱舟にはいりなさい。あなたがこの時代にあって、わたしの前に正しいのを、わたしが見たからである。(創世記7:1)

わたしは門です。だれでも、わたしを通って入るなら、救われます。また安らかに出入りし、牧草を見つけます。(ヨハネ10:9)



## 主が扉を閉ざされた

主は、彼のうしろの戸を閉ざされた(創7:16)。

## [7] 洪水が起こり、陸の生き物はみな死んだ

ちょうど七日後、ノアの生涯の600年目、第二の月の17日

あと七日たつと、わたしは、地の上に四十日四十夜、雨を降らせ、わたしが造ったすべての生き物を地の面から消し去るからである。」(創7:4)

水はどこから?

巨大な大なる水の源が、ことごとく張り裂け、天の水門が開かれた。(創7:11)

水はみなぎり、高い山々もおおわれ、肉なるものは死に絶えた。

「マブール (mabbul)」：「流水の洪水」「水力学的大激変」という意味  
新約聖書「カタクリュスモス」という特別な言葉

ノアの洪水は地球全体

#### 聖書の証言

- ① 裁きは全地球に対して。もし洪水が地域的ななら、その地域以外に生きていた人々は神の裁きを免れた。
- ② キリスト：箱船に入らなかった人はすべて洪水で死んだと信じておられた（マタイ 24:37-39）
- ③ 神の約束：ふたたび大洪水で動物や地を滅ぼさないと神が約束（創 9:11）（イザヤ 54:9）

#### 科学の証言

- ④ 局地的な洪水なら箱船を造る必要がない
- ⑤ 地球の地形を同じ高さにならしたら、2,400メートルを超す深さで地表を覆うだけの水量がある
- ⑥ エベレスト山の頂上には海洋生物の化石がある

水は、百五十日間、地の上にふえ続けた。

水はみなぎり、高い山々は覆われ、いのちの息を吹き込まれたもので、かわいた地の上にいたものはみな死んだ。（創 7:22）

### [ 8 ] 前半結語・後半への期待：

乾いた地の上にいたものはみな死んだ

\*\*\*\*\*

聖書の記事を題材にした映画、「ノア 約束の方舟」がどのようなものであり、どんなに非聖書的で、全能の主を冒瀆し、ノアを人間的にも悪人に描いているかを、アンサーズ・イン・ジェネシス (A i G) が丁寧に解説しています。それを、日本語に翻訳して、ホームページに掲載しています。

また、ブログにも安藤が多少の解説をしています。

ブログ <http://blog.andowako.jp/?eid=200>

ホームページ <http://andowako.jp/contents/qanda/bible-3-1/noah-11.html>